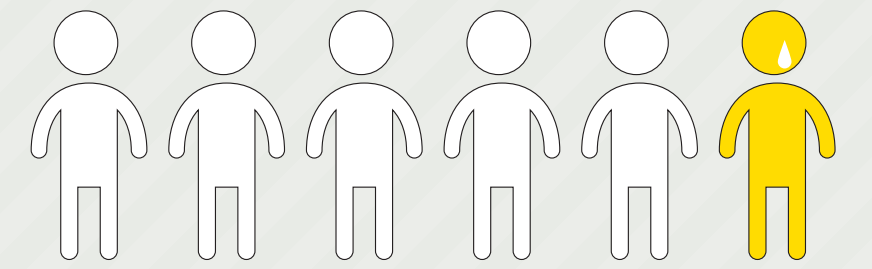


学ぶ権利を 脅かされる子どもたち

6人にひとり (2024年)



世界のどこに生まれても、すべての子どもには学ぶ権利があります。

子どもが自分のもっている能力を最大限にのばすために、学ぶことはとても大切です。「子どもの権利条約」では、すべての子どもに教育を受ける権利があることが約束されています。しかし、世界では紛争や貧困、気候変動の影響などさまざまな理由で、6～17才の6人にひとりにあたる約2億7300万人が学校に通えていません。学べないと、どんなことに困るでしょうか。

子どもの権利条約 第28条 「教育を受ける権利」



「子どもの権利条約」は世界中すべての子どもたちがもつ権利を定めた条約です。この条約の28条では、教育を受けることはすべての子どもがもっている権利であると約束しています。

📖 読んでみよう!



気候変動の影響で学校に通えない経験をした子ども

2億4200万人
*2024年



気候変動によって台風や洪水の被害が大きくなり、子どもたちが通学できなくなったり、教室が使えなくなったりします。また、厳しい暑さの中で学習に集中し続けることは難しく、熱中症になる危険も高まります。

雨がふったら学校へ行けない (バングラデシュ)



© UNICEF/UNI634949/Himu

※地図上の国境線は図示目的であり、その法的地位についてユニセフやユニセフ協会の立場を示すものではありません。

インターネットがきた！ (キルギス)



山に囲まれた村の学校でインターネットが使えるようになりました。理科や数学の授業で使えるようになり、険しい道のりを通学する子どもたちも学校を休む日が少なくなりました。先生たちは未来の科学者の誕生を楽しみにしています。



© UNICEF/Kyrgyzstan/2022/Tymur Nurbekov

奪われた日常と学ぶ権利 (パレスチナ・ガザ地区)



「戦争が始まる前は、毎日楽しかった。」ジャナは水も食料もほとんどないままテントでの避難生活を繰り返していました。攻撃でほとんどの学校が使えなくなりました。ガザ地区に2年ぶりに届き始めたノートや鉛筆もまだまだ足りません。



© UNICEF/UNI724433/Et Baba

極度の貧困 (1日3ドル未満) で暮らす子ども

4億1200万人
*2025年



地域に新しい学校ができた！ (スーダン)



紛争が続くスーダンでは通学にも危険があります。学校が遠すぎるので退学を考えたマルワでしたが、家の近くに学校ができて安心して通えるようになりました。「将来は子どもたちのためにたくさん学校を建てたいです」と話します。



© UNICEF 2025/UNI825779

勉強したい。 でも、働かなくちゃ… (イエメン)



「学校へ行く人を見ると、ぼくも戻りたいと思います。」17才のアナスは家族の生活を支えるため、12才から工場で働いています。夢は学校で学び、医師になること。イエメンでは370万人の子どもが生活のために働いています*。

*2025年時点



© UNICEF/UNI842736/Ai-Sharabi

家でインターネットが 使えない子ども

13億人
*2020年



インターネットは学校に通うのが難しい子どもたちにとって大切な学習道具です。世界では、農村部の75%の家庭でインターネットを利用できず、特に、低所得国の農村部や最も貧しい地域ではインターネットが使える環境はほとんどありません。

紛争の影響を受ける 地域で暮らす子ども

5億2000万人
*2024年



紛争が起きている場所では、避難生活のために学校に通えなくなったり、学ぶ場所や先生が足りなかったり、勉強道具を手に入れにくかったりします。学校が攻撃を受けることもあります。

学ぶことの大切さ

もって生まれた可能性をのばすために

ユニセフ親善大使

イシュマエル・バアさんからのメッセージ

13才のとき、シエラレオネで兵士として戦争に参加させられたイシュマエルさんは、ユニセフの支援で助けられ、教育を受けることができました。いま、ユニセフの親善大使となり、世界中の子どもたちへ「どんなことからでも立ち直れる可能性がある」と伝え続けています。



© UNICEF/UN0848545/Bustamante

🎥 イシュマエルさんの
メッセージはこちら

